

オートベースプラス再補修時のリフティング(ちぢみ)防止方法

オートベースプラス + オートクリヤー類を再補修する際には、下記の方法で行ってください。

再補修をする前の注意点

- 1.再補修する箇所を、使用したクリヤーの標準乾燥時間プラス60 /1時間程度強制乾燥し十分に完全硬化させてください。
- 2.再補修する箇所のダメージがオートベースプラスの層まで達している場合は、ドライP500又はウェットP1000にてサンディングしてください。
- 3.オートベースプラスの層まで研ぎだした場合は下記のいずれかの方法で適切に再補修してください。

方法A(露出したオートベースプラス層の直径が約1cm以下の場合)

スプレー圧力0.5～1.0kg/cm²程度で、各コート間はエアブロー及びタッククロスをし、充分フラッシュオフタイムをおきながらオートベースプラスを塗布してください。その際、絶対にウェットコートしないでください。

方法B(露出したオートベースプラス層の直径が約2cm以下の場合)

オートクリヤーインテリア(t.i.s.5.2.07 INS参照)単体で、各コート間充分にフラッシュオフタイムをおきながら3回ライトコートしてください。必要であればサンディングし、20 /15分後に方法Aの要領でオートベースプラスを塗布してください。

方法C(露出したオートベースプラス層の直径が約3cm以下の場合)

オートサフェーサーノンサンディング (t.i.s 3.2.17を参照)を、各コート間充分にフラッシュオフタイムを取りながら3回ライトコートしてください。20 /20分後に、必要であればサンディングをし、方法Aの要領でオートベースプラスを塗布してください。

方法D(露出したオートベースプラス層の直径が約3cm以上の場合)

広範囲でオートベースプラスが露出した補修箇所は充填が必要なのでカラービルド (t.i.s 3.2.18参照)又はオートサフェーサー940HS (t.i.s 3.2.20を参照)等を塗布し、指定された時間で強制乾燥してください。その際、絶対にウェットコートしないでください。サンディング後、方法Aの要領で再補修してください。

備考:再補修の際リフティング(ちぢみ)が発生したら、乾燥後リフティング箇所をサンディングで完全に除去し、上記のいずれかの方法で適切に再補修してください。